未来創造対話　in 大阪 2017

産学官連携による拠点形成

～地域発イノベーション拠点への期待～

2017年2月7日

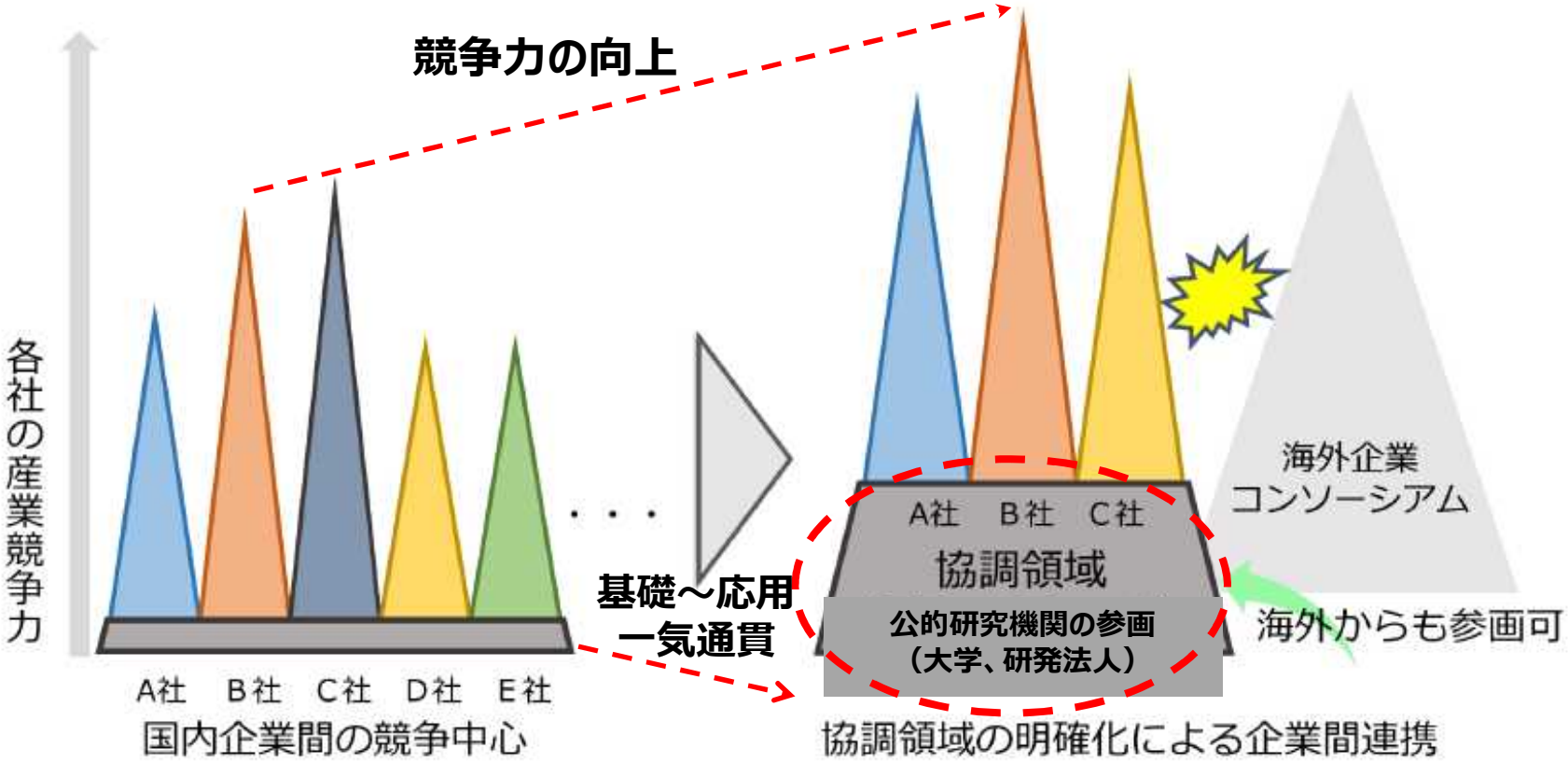
筑波大学大学院システム情報系社会工学域
トヨタ自動車株式会社　未来開拓室
髙原　勇

2050年に向けた挑戦（弊社の取り組み例から）

個社では解決できない複雑な経済・社会課題、協調領域で連携必須

TOYOTA

産業競争力の強化に向けて

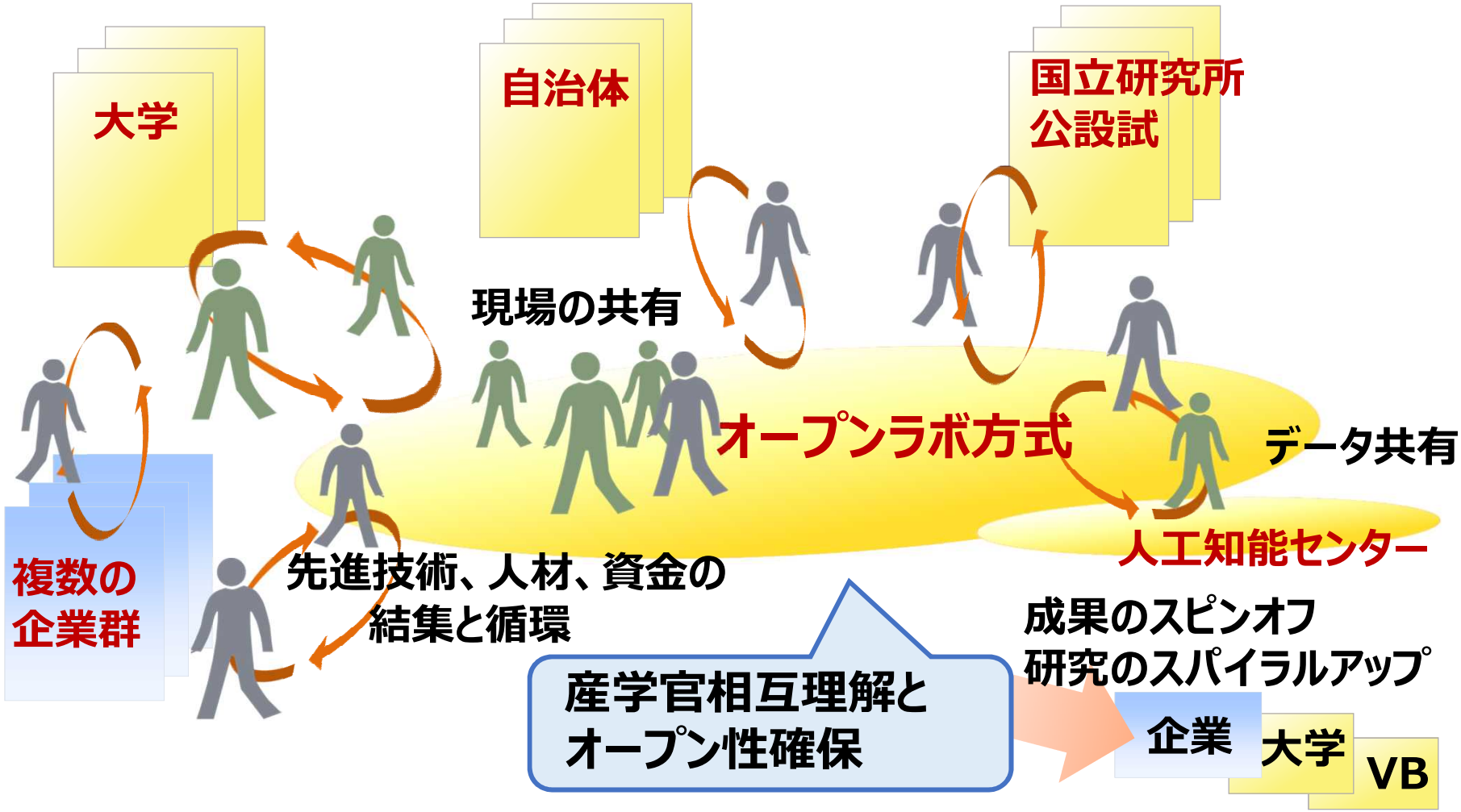


（経団連資料を元にトヨタにて作成）

オープンイノベーションの積極活用

- 企業間で協調すべき領域の提案と拡大施策
  - ⇒ SIPに代表される産学官連携の活性化と持続担保
  - ⇒ 拠点化の形成促進で、未来見据えた基盤づくりへ貢献

拠点形成への期待と機能



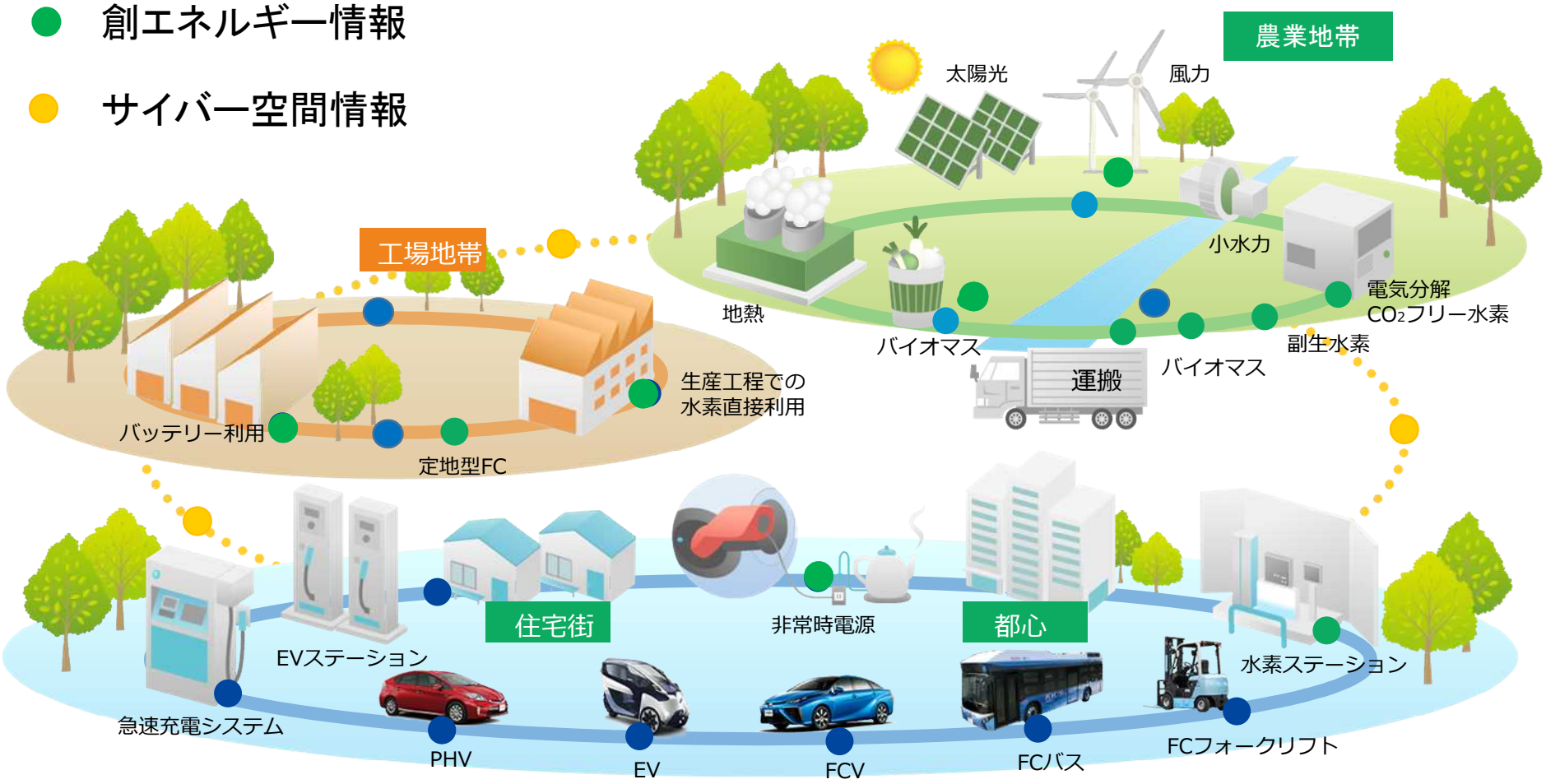
（内閣府SIP資料を元にトヨタにて作成）

- オープンラボ方式による地域発イノベーション拠点の形成を促進
- 産学官相互理解と先進技術、人材、資金の循環による機能発揮

TOYOTA

Society5.0実現に向けた取り組み（例）～ 地域未来の社会基盤づくり ～

- IoT車両情報
- 創エネルギー情報
- サイバー空間情報



長期・協調領域の産学官連携で地域未来の社会基盤づくりを計画

TOYOTA

産学官連携の拠点形成に向けて

2030,2050年を見据えた地域未来の基盤つくりと地域の拠点形成へ
具体的な**産学官大型プロジェクト**が必要。

・産業界は**協調領域の拡大や未来産業形成に向けた長期的視点**で
拠点化への貢献と地域未来に向けた産学連携を検討すべき。

・大学は、いまこそさらなる**産産学学でオープンに連携、競争力意識した
チーム研究**を促進する施策や拠点整備を推進すべきではないか。
（欧米大学は規模、スピード、ネットワーク、セールスフォース、財務基盤で競争力あり）

・ 日本の未来創生に向けて、大学・自治体・複数の企業群が、
地域未来の経済・社会的課題に具体的な取り組みを
積み重ねていくこと、**知能化に向けた拠点実現と連携**が必須ではないか。

TOYOTA